

第2学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 三角形と四角形(全体時間4時間)

コンテンツ名 「三角形と四角形」(S05.mpeg)

第2学年 実施時期 2学期10月

単元目標

【関心・意欲・態度】・図形の操作や作図を楽しもうとする。

【数学的な考え方】・図形の位置や向き、大きさなどにとらわれず、囲んでいる直線の数に着目して、三角形や四角形を見つける。

【表現・処理】・身の周りのものの中から、三角形や四角形をしたものを取り出したり、紙を折ったり切ったりしてこれらの図形を作ったり、直線を引いて作図したりすることができる。

【知識・理解】・紙を折ったり切ったりして三角形、四角形を作ったり、直線を引いて作図したりすることなどを通して、図形についての豊かな感覚をもっている。

・三角形、四角形の意味について理解している。

本時の目標と展開(全4時間 本時はその1時間目)

- 1, 操作活動を通して、三角形、四角形の定義を理解することができる。(本時)
- 2, 点を線で結んだり、図形を観察したりする活動を通して、三角形や四角形の意味について理解することができる。
- 3, 三角形・四角形の紙を2つに切って三角形・四角形をつくり、三角形・四角形についての理解を深める。
- 4, 身の回りのものの形の中から三角形・四角形を見つけようとする。

学 習 活 動

(1) 課題をつかむ。

T「教科書の絵には、どんな動物がいるでしょうか。」

S「ライオン。」

S「ゴリラもいるよ。」

S「キリンもいるよ。」

T「点と点を直線でつないで動物の家を作ってあげましょう。」

T「できるだけ少ない数の線で囲もうね。」

・2つのことに気をつけ、定規を使っていねいに直線を引かせるようにする。

1、点と点を直線でつないで、動物を囲む。

2、できるだけ少ない本数で囲む。

T「動物の家を作ってできた形を二つの仲間に分けましょう。」

・囲んでいる直線の数に着目させて、なかまわけができるようにする。

T「どのようになかまわけをしましたか。」

S「ライオンとキリンとゴリラの家。それと、かばとゾウとシマウマの家。」

T「なぜ、そのように分けましたか。」

S「3つの線でできている形と4つの線でできている形にわけました。」

(2) 三角形、四角形の定義を知る。

T「3つの直線で囲まれている形を三角形といいます。」

T「直線とは何ですか。」

S「曲がっていないまっすぐな線。」

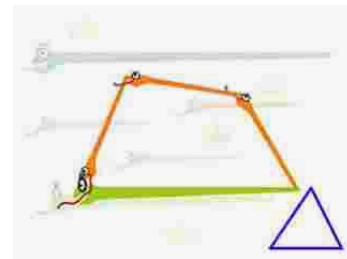
T「4つの直線で囲まれている形を四角形といいます。」

T「ライオンの家の形は何ですか。」

S「三角形です。」

T「ゾウの家の形は何ですか。」

S「四角形です。」



(3) デジタルコンテンツを見て本時のまとめをする。

三角形の定義(音なし 7秒)

(音なし 13秒)

四角形の定義(音なし 20秒)

- ・コンテンツを細かく止めていきながら、三角形、四角形についての定義を理解させる。
- ・具体物を使って定義がとらえやすいようにさせる。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

三角形と四角形 http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#05